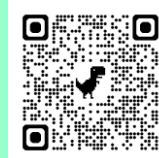




あ ん ど う と し ひ ろ
安 藤 利 博
議会報告

第14号
令和6年9月

発行人: 安藤利博
〒709-0721 赤磐市桜が丘東 4-4-695
TEL・FAX 086-995-3714
携帯番号 090-7137-6605
E-mail qqjiteki5963@gmail.com



(ホームページ) (LINE)

新拠点整備に係る補正予算を承認

9月議会に新拠点整備に係る約8億8千万円の本格的な予算が初めて上程されました。

河本・岩田地区の新拠点整備は赤磐市が合併した当初から進めている計画で、第二次赤磐市総合計画の中でも中心的な位置づけの計画です。今回の予算が承認されなければ計画そのものが停滞、或いはとん挫しかねない、赤磐市にとって大変重要な予算です。とはいえ、市長のこれまでの説明、進め方には大きな問題がありました。

それは、市長はこれまで公共ゾーン以外は民・民の問題で、赤磐市は関与していないと説明されてきました。それが今回の一般質問で突然「市長自らがトップセールスで、コストコとナカシマホールディングスの関連会社の誘致を進めている」と答弁されました。担当の産業建設常任委員会の議員が議会軽視だと怒るのも当然です。

大切な農地をつぶして市街化区域にするのなら、当然進出する企業のあてがあって進めているはず。私は何度も市長に、確定ではないがこんな企業と交渉している、と企業名は臥してでも公表するように言ってきました（当てもないのに進めていたのならそれこそ無謀です）。

今になって相手方企業から正式に決まるまでは公表を控えてくれと言われていた、と釈明陳謝されたが、最初から複数の企業と交渉しているが今の段階では企業名は言えない、と言っていれば何の問題もなかったはず。

次に予算の中身、特に市が買い上げる道路部分についてです。

どのような企業が進出するにしても道路整備は必要なので、私は次の点を質問、確認して賛成しました。

- ① 道路部分の買い上げ価格は、現状の農地としての評価額か。仲介業者と決めるのか。
→農地としての鑑定評価額による。
- ② 道路部分の工事費は誰が負担するのか。
→市と民間が別々に造成するよりも、一体として造成した方が安く造成できるので、協議した結果民間で行う。
- ③ 埋蔵文化財包蔵地の発掘調査はどの場所か。→発掘調査が必要とされている道路部分である。

これだけの大事業なので何よりも疑念を持たれないように適正に進めてもらいたいです。

予算常任委員会では延々約5時間にわたる審査の結果、賛成9人、反対6人で可決されました（本会議での各議員の賛否は11月に全戸配布される「市議会だより」で確認してください）。

それより今回の予算には計上されていないが、公共ゾーンの道の駅、バスターミナルは本当に必要なのか見直すべきと思っています。

最後のページに載せた図面と見比べて、今回の補正予算を確認してください。

文化・観光振興策について

備前国分寺跡

赤磐市が発行している観光ガイドには 27 か所が紹介されている。ところがその中には駐車場もトイレも整備されていないところがある。

その最たる場所、備前国分寺跡を整備しないかとの質問に、産業振興部長は明確に駐車場、トイレの設置計画はないと答弁。

道の駅整備について市内観光業者からも「道の駅から市内の観光地につなぐことが大切。道の駅整備だけでなく観光地整備も必要だ」との意見が出されている。当たり前の話だが赤磐市にはその発想がない。

草刈りについても毎年 2 百万円、友実市長の 12 年間で 24 百万円もの市民の税金をつぎ込んでいる。今の草刈り方法でどの様な状態になっているかも、おそらく現地確認はしていない。

自分の家の庭ならもっと時期や方法を考えるはず。無責任極まりない。



冬場の国分寺跡
(草刈り後も草が伸びて枯れている)

血洗の滝

先日地元の方々の努力で血洗滝神社の祠が再建された。血洗の滝にはトイレがあることになっているが見当たらない。よく探したら数百メートルも下ったところに確かにあった。しかし「施設老朽化のため閉鎖中」との張り紙がしてあり使用できない。

頑張っている地元に報いる意味でも早急に整備すべきです。それにより努力する地域と行政の良い循環が生まれる。



使用禁止のトイレ



再建された祠

あまりに情けない部長の答弁に納得いかないので、市長にこれで良いと思うのかと質したら、市長は「観光客が訪れるならトイレの準備とかは必要に応じて検討すべきと思う」と答弁されました。検討結果を見たいと思います。

古墳調査

赤磐市には古墳が約 500 基ありますが、その殆どは学術調査がされていません。

昨年 3 月議会で教育次長は「市内には重要な古墳があるので専門家の意見を踏まえて今後の方針を検討する」と答弁されました。そこで今回その検討結果を質しました。教育長は「発掘調査をしたら元に戻すことは不可能です」という全く見当違いの答弁。

高松塚古墳は発掘によりあの様な壁画が発見された。総社市は新市 25 周年を機に作山古墳を発掘調査する。岡山市は保護と整備を目的に 2015 年から造山古墳を発掘調査しており、今年 8 回目の発掘調査を行う。教育長は学術調査の意味を理解していない。学術調査を破壊と同列視している信じられない答弁です。

両宮山古墳の周辺には多くの古墳があるが、そこにはどんな埋蔵品、宝が隠れているかわからない。観光資源にも結び付く文化財を眠ったままにしておく歴代市政の怠慢。

何故県下 3 番目の規模を誇る両宮山古墳の調査をしようとしなのかわかりません。

観光振興部署の連携

文化財は教育委員会が、「大地(ジオ)の教科書」といわれる赤磐の地質資源については地球史研究所(政策推進課が窓口)が、貴重な情報を発信している。しかしこれらは学術的な専門の立場からの情報発信で、これを赤磐の魅力、観光資源として発信するのは商工観光課の役割だが現状は全く連携がとられていない。

市長は「地域の魅力を発信するためには、特定の部署だけでなく様々な部署が連携して進める必要がある」と答弁されました。

産業振興部長も「商工観光課としても今以上に一層横の連絡、連携を取り、観光振興に役立てたいと考えている」と答弁されました。

施設申込方法について

赤磐市の施設利用の申し込み手続きは赤磐市が誕生した 20 年前と全く変わっていない。

予約状況は窓口へ行くか、電話で問い合わせしないと分からない。紙の申込書に記入して提出し、利用料金を支払い、利用当日は窓口で鍵を受け取り、終わればまた返却に行く。

このような業務に職員が当たるのは時代遅れも甚だしい。

- ・ホームページに施設予約状況表を挙げておけばいつでもネットから確認できる。
- ・予約も近く導入される公式LINEに電子申請機能も加わるので施設予約にも使えるようにすればよい。
- ・利用料はキャッシュレス決済できる。来年 1 月から有料化されるEV急速充電器もスマホ決済のみで現金での利用はできない。
- ・今はスマホで開閉できる鍵が開発されているので、鍵の受け渡しも必要なくなる。

DXを活用して「**行かない窓口**」「**書かない窓口**」が今の時代の流れ。職員には職員にしかできない業務に専念してもらいましょう。

財務部長からは「どれだけできるか実現の可能性を探っていく」との答弁がありました。

ホールの予約

赤磐市の施設の予約は 3 か月前からになっている。しかし継続して活動している団体は 1 年前にはスケジュール調整のため次の公演の日程を決めている。3 か月前では著名なグループの招聘はできない。近隣市町もホールに関しては 1 年前からの予約になっている。

教育次長からは「客席のあるホールについては早期に予約できるよう検討したい」との答弁がありました。財務部所管の桜が丘いきいき交流センターも 1 年前からにすべきです。



桜が丘いきいき
交流センター

公共施設活用方針

公共施設管理計画の目標である“50 年で公共施設の半減”は殆ど進んでいないのが 3 月議会の一般質問で明らかになりました。しかし 50%削減は現実的でないにしても将来負担コスト削減のために①総床面積の削減、②長寿命化・効率化、③民間活力導入は進めるべきです。

低利用状態の施設については民間移譲、指定管理などで財政負担軽減、利用率アップを図るべきです。

財務部長からも指定管理、民間委託導入に向けて取り組みを進めるとの答弁がありました。



利用率が低い
大苅田読書公園

熊山支所、熊山公民館移設解体

施設の統廃合についていえば、今回の補正予算に老朽化が著しい熊山支所、熊山公民館の熊山保健福祉センター、くまやまふれあいセンターへの移設解体が挙げられています。

支所機能が一か所に集約化されて便利になるほか、跡地は駐車場に整備され、駐車場が狭く不便だった支所、ふれあいセンターの利用者増加も期待されます。



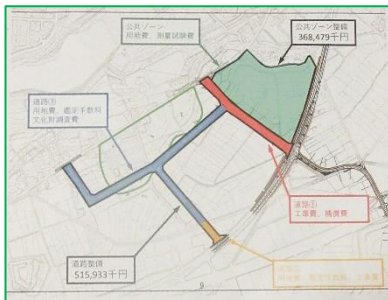
移設解体される
熊山支所と
熊山公民館

これからの時代、申請も納付もオンラインでできるようになる。市民からの問い合わせも殆どは共通している質問が多く、予めQ&Aにまとめておけば一々窓口に行って個人情報などをさげ出して職員に相談することは余程のことでない限り必要なくなる。

熊山支所に続いて赤坂、吉井支所をはじめ、公民館、学校についても地元ともしっかり協議し、市民サービスを維持したうえでコストの削減に取り組んでいただきたいところです。

図面から読み解く今回の補正予算

土木費関係 884,414 千円



公共ゾーン（緑色の部分）：368,479 千円

土地購入費：3 億 6 千万円、測量設計委託料：8,479 千円

補償金：16,400 千円 道路①（赤色部分）

道路購入費：71,745 千円

②（黄色部分）：7,745 千円、③（青色部分）：64,000 千円

現況（農地）評価にて市が購入（鑑定手数料：1,718 千円）

道路工事費：426,070 千円

①県道右折レーン、②接合部分工事

埋蔵文化財発掘調査費 85,870 千円

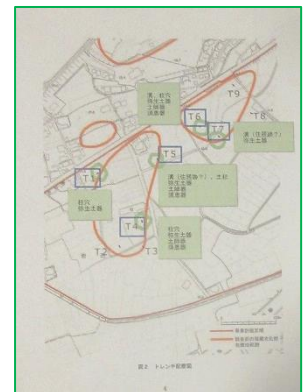
令和 5 年度に実施した埋蔵文化財包蔵地（赤枠の部分）の
9 か所を試掘調査した結果、5 か所から遺構と遺物が発見された。

その結果、新拠点内の包蔵地 2 か所を一体として、左上図の
緑色線で囲まれた部分を曾根田遺跡と命名した。

包蔵地上に整備する物により、発掘調査が必要なものと不要な
ものがある。道路は発掘調査が必要なため今回の予算に計上。

赤色の道路①部分は調査が必要な包蔵地には含まれない。

（図が小さく、見えづらいのをご容赦ください）



「安藤利博公式ホームページ」を開設しました

多くの方のご支援のお陰で赤磐市議会議員に押し上げていただけてから 3 年半、当初は一期だけのつもりでしたが、何人もの方からは是非もう一期やれ、とのありがたいお言葉をいただいています。

そこで熟慮の結果、この度もう 4 年、最後の力を振り絞ろうと決心いたしました。

これまでの 3 年半、議会のたびに議員の務めとして「議会報告」を発行して議会の様子をお伝えしてきましたが、更に今般、私の日常の活動をもっと知っていただくために、遅ればせながら“ホームページ”を開設いたしました。

私の経歴や議会活動、地域活動のほかに、これまでの「議会報告」も掲載しています。ご意見も直接メールでいただけるようにもしています。

パソコン、スマホで“安藤利博”で検索していただければ「安藤利博公式ホームページ」が出てきますので簡単に見ていただけます。

是非ご覧いただき、お知り合いの方にも紹介していただきますようお願いいたします。

